

園芸

アスパラガス出荷規格指導会を開催！ 選果もスタート！

JAは4月、県内一の販売額を誇るアスパラガスの管理講習会と出荷規格指導会を各地域で開きました。

4月18日には、石鳥谷東支店（花巻市石鳥谷町）で開催。同町の生産者やJA職員など約30人が参加し、県中央農業改良普及センターが栽培年数ごとに収穫のポイントや春先の管理方法について説明しました。



JA職員は、出荷規格や出荷時の注意点などについて説明。実物や写真を用いて解説し、適正規格での出荷を呼び掛けました。

西南アスパラガス選果場（北上市和賀町）で、4月24日から今年度のアスパラガスの選果が始まりました。管内のアスパラガス共同選果は1カ所に集約し、全国に出荷しています。春芽出荷の最盛期は5月中旬で、10月頃まで選果が続く予定です。

◆平成30年度の販売目標
販売額：2億1720万円
出荷量：228t



営農振興

農家所得増大に貢献！ 中核農家を「農の匠」に！

JAは4月11日、地域の中核農家を指導役として任命する「農の匠」の委嘱状交付式を本店（花巻市野田）で開きました。



「農の匠」の制度は平成28年度から実施し、今年度で3年目を迎えます。任期は1年で、今年度は野菜類や果樹、花き、雑穀など約15種類の品目ごとの中核農家に委嘱。昨年度より1人多く、新規3人を加えた30人に委嘱しました。「農の匠」は、長年の経験と豊富な知識を使った農家への技術指導やJA営農指導員への助言に加え、仲間づくり支援や後継者育成支援などを担います。

阿部勝昭組合長は「地域農業者の指導役として収量と品質の向上、農家所得増大に向けて技量を十分に発揮して活動してほしい」と期待を込めました。

◆平成30年度「農の匠」

- 【花巻地域】中村修（キュウリ）／古館良介（ミニトマト）／晴山文佳（ピーマン）／佐々木静男（ナス）／合澤誠一（ネギ）／上川利勝（アスパラガス）／伊藤正孝（リンゴ）／小原洋一（リンゴ）／佐藤秀明（ブドウ）／佐々木和弘（ブドウ）／伊藤俊美（リンゴ・洋ナシ）／板垣忠夫（リンドウ）／高橋誠（草花）／川村孝信（雑穀）
- 【北上地域】瀬川栄一（サトイモ）／佐藤祥行（アスパラガス）／高橋靖（ネギ）／及川雅晴（アスパラガス）／伊藤源一郎（ピーマン）／佐藤邦夫（キュウリ）
- 【西和賀地域】高橋明（アスパラガス）／橋本烈（ホウレンソウ）／久保三三夫（露地イチゴ）／本多博（四季成りイチゴ）／高橋文昭（リンドウ）
- 【遠野地域】奥田満（アスパラガス）／菊池由雄（ピーマン）／菊池啓造（ニラ）／駒込欣也（トルコギキョウ）／菊池正明（トルコギキョウ）



各グリーンセンター定休日

5・6月の定休日と営業時間は次の通りです。ご確認の上ご来店ください。

※定休日と営業時間はそれぞれの店舗によって異なりますのでご確認ください。
※右記のほかに、5月31日（木）が第1四半期決算棚卸しのため全店舗休業します。

	定休日	5月の営業時間	6月の営業時間
花巻	6/3(日)	平日…8:30~18:00(6月は17:30まで) / 土・日・祝日…8:30~17:00	
石鳥谷	5/26(土)・6/9(土)	8:00~17:00	8:00~17:30
大迫	土・日・祝日		8:30~17:00
東和	6/16(土)		8:30~18:00
北上	6/24(日)	平日…8:30~18:00 / 土・日・祝日…8:30~17:00	
西和賀	5/13(日)・6/17(日)	平日…8:30~18:00 / 土・日・祝日…8:30~17:00	
遠野	5/9(水)・6/13(水)	8:30~18:00	

●お問い合わせ／営農部生産資材課 ☎ 0198-22-6192 または、最寄りのグリーンセンターまで

米穀

米作りスタート！良質米生産を！

播種後約30日間の育苗期間を経て、田植えがスタートします。適期に適切な田植えを心がけましょう。

◆田植え

田植えは、なるべく暖かく風のない晴れた日に植えることが重要です。

- ①植付け本数の目安は、「ひとめぼれ」で1株につき中苗3~4本。
- ②植え直しが終わったら、いもち病対策のために取り置き苗はすぐに処分する。
- ③低温が予想される場合は深水管理する。

◆初期病害虫防除

水稻箱施用剤を使用する前にラベルをよく読み、散布基準量・散布時期を確認しましょう。（水稻箱施用剤と水稻除草剤を間違えないよう注意）

- ①水稻箱施用剤は1箱当たり50gを均一散布する（昨年、穂いもち病が多発、散布量厳守）

◆除草剤

除草効果を高めるため丁寧な代かき、湛水状態を保つことが重要です。

- ①田植後3~6日（代掻き後7~10日）に散布すると

効果を発揮する。

- ②散布直前は深水とし、散布後3~4日間は湛水状態を保ち田面露出は厳禁。

◆田植機

田植機の作業前点検を行い、農作業安全に努めてください。

特A奪還に向けて

JA中央育苗センター（花巻市桐ノ目）は4月、「ひとめぼれ」や「銀河のしずく」など約3万3000箱（約165ha分）を播種しました。種まき後の苗箱は出芽室に2.5日入れて発芽させ、ビニールハウスに移しました。食味ランキング特A奪還に向け、播種や育苗段階から温度や水などの管理を徹底しています。

営農部米穀販売課の照井勝司課長補佐は「管理を徹底し、良質な苗を生産者に出荷したい。真心を込めて栽培し、消費者に喜ばれる米を作りたい」と意気込みました。



園芸

園芸品目の販売額38億円に向けて



JAは4月20日、野菜・果樹・花き・菌茸の4部会合同の通常総会を花巻市内の温泉で開きました。

各部会の役員やJA、県南広域振興局、行政関係者など約80人が参加し、各部会の通常総会に先立ち総合開会式を開催。4部会を代表して花き部会の高橋誠部会長が「天候に負けない農業経営を目指し、各部会が情報を共有しながら安定出荷に努めよう」と話し、JAの佐藤力夫常務は「出向く活動を通して、生産者の期待に応えられるJAを目指す。生産者とJA、行政が一体となり頑張ろう」と呼びかけました。

その後、部会ごとに通常総会を開催。平成29年度事業報告や平成30年度事業計画などの議案を審議・承認しました。

平成30年度は、園芸部門で販売額38億円を目指します！

園芸

カンパニユラ出荷目揃会

JAは4月19日、国内トップクラスの販売額と品質を誇るカンパニユラの出荷目揃会を花巻園芸センター（花巻市太田）で開きました。



各地域の生産者やJA職員など約60人のほか、市場の担当者も参加。市場の担当者から情勢を直接生産者に伝えました。目揃会では、JA職員が平成29年度から変更となった選別基準を中心に等級の分け方や出荷時の注意点などを説明。適正規格での出荷を呼び掛けました。また、「農の匠」である花き部会の高橋誠部会長が実物を見せながらの説明を行いました。



高橋部会長は「販売額4000万円、そして産地維持のためみんなで頑張ろう」と呼び掛けました。